

# Ginza Sony Park

2022年5月12日  
ソニー企業株式会社  
No. GSP-21024

NEWS RELEASE

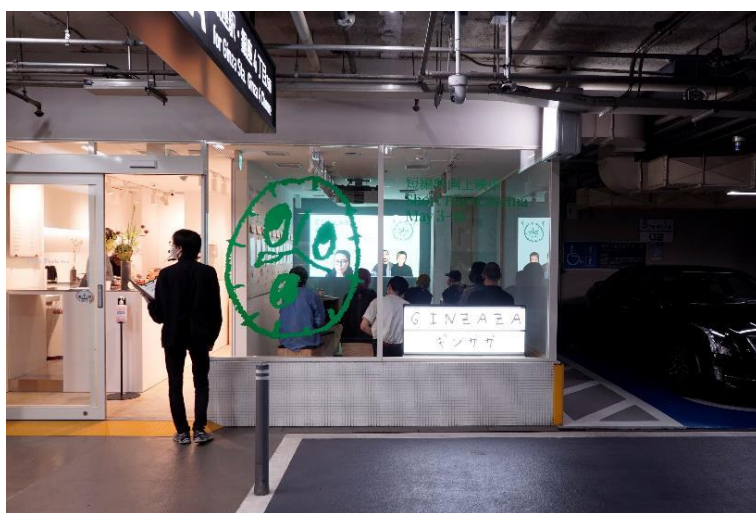
「短いほど表現の幅は広がると感じました。刺激的な体験でした」

大好評につき、5月31日まで上映期間の延長決定！

**銀座で短編映画の可能性を感じる10作品を観る**

**「GINZAZA (ギンザザ)」**

銀座地下駐車場にある Sony Park Mini で開催中の、映画監督の空音央（そら・ねお）氏と映画キュレーターの増淵愛子（ますぶち・あいこ）氏が世界中からキュレーションした10作品を通じて短編映画の可能性を感じるプログラム「GINZAZA (ギンザザ)」を、大好評につき5月31日（火）まで期間延長してお届けすることとなりました。



「短いほど表現の幅は広がると感じました。刺激的な体験でした」  
「出勤前の朝9時に立ち寄って、短編映画を一本観て、変わらぬ日常も新鮮になりました」  
「作品上映後に監督のインタビュー映像が観られて、制作の裏話が聞けて満足でした」  
会場内にはお客様から GINZAZA や上映作品に対する沢山のコメントもいただいております。



## ■ 1作品100円、わずか4分で短編映画の可能性を感じられる。

平日は9:00~18:00の1時間毎に1作品を上映します。作品時間は最短4分から最長24分までバラエティに富んだ10作品をラインナップ。気になる作品を狙って観ることはもちろん、待ち合わせやちょっと時間が余った時にお越しいただいても気軽に映画をお楽しみいただけます。週末には3~4作品をまとめてご覧いただけるプログラムもご用意しています。

## ■ GINZAZAをより楽しむためのスペシャル・トーク映像で学ぶ。

アカデミー賞受賞監督・濱口竜介（はまぐち・りゅうすけ）氏と、空氏・増渕氏の3人による、上映10作品を1本ずつ掘り下げていくGINZAZAオリジナルのスペシャル・トーク映像は、映画を観る前、観た後に必見です。

動画URL：<https://youtu.be/TC8biGonh64>

## ■ 作品上映後は監督自らが作品の解説を語るQ&A映像も楽しい。

上映後には短編映画の魅力を知り尽くした空氏・増渕氏だからこそ迫ることができる作品の制作過程や裏話、そして短編映画の可能性についての監督へのインタビュー映像が流れる回もあり、より深く短編映画の魅力を知ることができます。

## GINZAZA Edition 1：短編映画の可能性 The Possibilities of Short Films」概要

### 10作中7作が日本初上映！

### 空音央と増渕愛子がキュレーションした選りすぐりの短編映画たち

GINZAZAは、東京・銀座の地下駐車場にあるSony Park Miniの小さな空間が、感性を刺激する、わずか8席の「短編映画の遊び場」になるプログラムシリーズです。毎回異なるテーマを軸に短編映画を掘り下げながら、カジュアルな雰囲気の中で気軽に短編映画がお楽しみいただける場をつくりまします。



第一回目の開催は「GINZAZA Edition 1：短編映画の可能性 The Possibilities of Short Films」と題し、短編映画の奥深さや多様性をテーマに、10作品を上映します。キュレーターを務めるのは、監督作がロカルノ国際映画祭等の映画祭で紹介されたほか、フランスの映画批評誌カイエ・デュ・シネマでもピックアップされた映画監督の空音央氏と、MoMAをはじめとするNYの各劇場で映画キュレーターとして活躍するほか、翻訳家としてはアカデミー賞で濱口竜介監督の通訳を担当した増渕愛子氏の二人。上映作品ラインナップは、2020年のベルリン国際映画祭短編部門で金熊賞を受賞した「T（ティー）」（監督：キーシャ・レイ・ウィザースプーン）や「Yoruga（ヨルーガ）」（監督：フェデリコ・トラド・トボン）など計10作をすべて日本語（または日本語・英語両方）の字幕付きで上映。そのうち7作が日本初上映となります。

入場は当日チケット制で1作品100円、席数は8席、各回上映30分前にSony Park Miniでチケット販売を開始します。月曜から金曜は9:00~18:00の1時間毎に1作品を上映、週末の土曜・日曜は10作品を3つのコンセプトにカテゴライズし、11:00 / 14:00 / 17:00の3回に分けて上映します。上映終了後には、これら作品の監督へのインタビュー映像をご覧いただける回もあるほか、会期中は空氏と増渕氏もGINZAZAを訪れ、来場者とともに短編映画談議に花を咲かせます。

### 映画監督・濱口竜介がGINZAZA上映作品を掘り下げていく

### 空音央・増渕愛子とのスペシャル・トーク映像を公開！

また、GINZAZAの開催に先駆け、「ハッピーアワー」や「ドライブ・マイ・カー」など長編を撮る傍ら、短編映画も作り続け、2021年には3つの短編からなるオムニバス映画「偶然と想像」がベルリン国際映画祭の銀熊賞を受賞した濱口竜介監督と、GINZAZAの企画者・キュレーターである空氏・増渕氏の3人が、それぞれの視点で、第一回GINZAZAラインナップ10本の作品を1本ずつ掘り下げていくスペシャル・トーク映像を、GINZAZAのウェブサイトおよびYouTubeチャンネル（動画URL：<https://youtu.be/TC8biGonh64>）にて公開中です。

## 真崎嶺デザインのフリーマガジンやステッカーなど、会場で手に入るスペシャルアイテム

会場では、無料でお持ち帰りいただけるフリーマガジン「ZineZaZa (ジンザザ)」を配布。デザインを担当したのは、書籍「サラリーマンはなぜサーフボードを抱えるのか？」でも話題の真崎嶺(まさき・れい)氏、編集は、自主上映企画「肌蹴る光線」を主催する井戸沼紀美(いどぬま・きみ)氏が担当しています。また、チケットをご購入いただいた方にはGINZAZA オリジナルステッカーをプレゼントするほか、上映作品のチケットを全て集めるとGINZAZA オリジナルのピンバッジを進呈します。



さらに Sony Park Mini 内にある西銀座駐車場コーヒーでは、GINZAZA 会期中限定のコラボメニューとして、通常は浅煎りで飲むことの多いコーヒー豆エチオピアをあえて深煎りで焙煎した「ザザ・ブレンド」がメニューに加わります。また、100食限定で、バニラアイスにザザ・ブレンドをかけた「アフオガート」もラインナップ。銀座散策の隙間にさくっと鑑賞するもよし、コーヒーを飲みながらゆるく深く語らうもよし。様々なスタイルで、新たな短編映画との出会いをお楽しみください。



プログラム名称：GINZAZA Edition 1：短編映画の可能性 The Possibilities of Short Films

開催期間：～2022年5月31日(火)

開催時間：月曜日～金曜日：8:30～19:00

土曜日、日曜日：10:30～19:00

場所：Sony Park Mini (東京都中央区銀座5丁目3番1号地先 西銀座駐車場地下1階)

アーティスト：空音央(映画監督) / 増淵愛子(映画キュレーター)

入場料：100円(税込) / 1作品

詳細：

- 月曜から金曜は、9:00～18:00の1時間毎に1作品を上映します。
- 週末の土曜・日曜は10作品を3つのコンセプトにカテゴライズし、3-4作品ずつを11:00 / 14:00 / 17:00の3回にて上映します。
- 作品によっては、本編の上映後に監督のインタビュー映像がある回もあります。
- 入場は当日チケット制で、席数は8席。各回上映30分前に、Sony Park Miniにてチケット販売を開始します。
- 上映スケジュールの詳細はGINZAZA公式サイトをご覧ください。
- プログラムに変更等がある場合は、Sony Park公式SNSでお知らせいたします。

GINZAZA公式サイト：<https://www.ginzazafilms.com/>

GINZAZA公式Instagram：<https://www.instagram.com/ginzazafilms/>

@ginzazafilms

Sony Park公式Instagram：<https://www.instagram.com/ginzasonypark/>

@ginzasonypark

ハッシュタグ：#ginzaza #sonyparkmini

### 「濱口隆介と語る短編映画の可能性」スペシャル・トーク映像

映画監督・濱口竜介氏が短編映画とGINZAZA上映作品を掘り下げていく、空音央氏・増淵愛子氏とのスペシャル・トーク映像を、GINZAZAウェブサイト及びYouTubeチャンネルにて公開中。

動画URL：<https://youtu.be/TC8biGonh64>





## 上映作品リスト：邦題（原題/英題） ※邦題五十音順

※全作品、日本語 / 英語で鑑賞いただけるよう字幕対応しています。



### ゾーナ (ZONA)

監督：マサミ・カワイ

干ばつが悪化し、給水が遮断された近未来のロサンゼルス。東京からの移民である老人女性は一人で自らの生活を凌ぎながら、足の悪い隣人にもなんとか水を分けられないかと奮闘する。最小限の台詞とドラマチックな音楽で、現実と隣り合わせのSFを見事に描き切ったのは、ロサンゼルス生まれのマサミ・カワイ。

15分・2021年・アメリカ



### ティー (T)

監督：キーシャ・レイ・ウィザースプーン

自作の衣装を身にまட்டுて死者を弔う毎年恒例の祭り「Tボール」の準備をする3人の様子を、カメラクルーが追う。ジャマイカ系アメリカ人の監督、キーシャ・ラエ・ウィザースプーンが、生と死とアート、それらのあいだを行き交うエネルギーを力強く描写した同作は、2020年の『ベルリン国際映画祭』短編部門で金熊賞を受賞した。

14分・2019年・アメリカ



### 透明な私 (Transparent, I am.)

監督：村岡由梨

映像作家 / 詩人の村岡由梨による、コロナ禍のセルフポートレート。まともがわからない日常の中で混乱・錯乱しながらも、雲間に差し微かな光を意地でも見逃さんとする切実な意志が胸に迫る。なお、劇中で読み上げられるのは村岡による同名詩。ウェブサイト「浜風文庫」で全文を読む事が出来る。

11分・2020年・日本



### バズキル (Buzzkill)

監督：キャティー・ミトラーニ

南フロリダの夏。強い日差しの中で、十代の残酷さが露わになる。身勝手なヒエラルキーを察知しながらも、なんとか仲間にも馴染もうと果敢にプールに飛び込んだ少女は、永遠のように長い一日を体験する事に。タイトルの「Buzzkill」は「楽しい事柄を台無しにする人」といった意味。

R13+ : 13歳未満の方への鑑賞は推奨していません。

11分・2020年・アメリカ



### ハッピーヴァリー (Happy Valley)

監督：サイモン・リユー

アナログフィルムでの映画制作にこだわり続け、その可能性を広げてきたニューヨークの映像作家サイモン・リユー。遊園地の空中ブランコから道に捨てられたペットボトルまで、香港の街を隅々まで映した同作は、個人の記憶の集積でありながら、歴史や政治とも必然的に響き合っている。16ミリの映像詩を、あなたはどうか捉える？

13分・2020年・香港



### フィリピーニャーナ (Filipiñana)

監督：ラファエル・マヌエル

豪華絢爛なゴルフ場。新人スタッフのイザベルは「ルールを守れ」と叱られ、厳しい監視下に置かれながらも、やがて職場での抜け道を探っていく。『ベルリン国際映画祭』短編部門で銀熊賞を受賞するなど、各国の賞を総なめにしてきた話題作。ロンドン・アムステルダム・マニラを拠点に活動するフィリピン人監督が、土地の湿度までも見事に映し出す。

24分・2020年・フィリピン、イギリス



### フレックス (FLEX)

監督：ベイビーベイビー

「自分は本当に美しいのか？」筋肉を鍛えながら自問自答するボディビルダーのシュールなポートレート。デイヴィッド・ストリンダーとジョセフィン・マルメンによる監督デュオ・ベイビーベイビーは「とにかく見た事がないものをつくりたい」と考え同作を制作したのだとか。16ミリフィルムとCGを駆使して撮影された異色作。

4分・2020年・スウェーデン



### 見えない川 (Giông Sông Không Nhìn Thấy / The Unseen River)

監督：ファム・ノック・ラン

メコン川沿いで交差する二つのラブストーリー。30年ぶりに再会した元恋人たちと、不眠症で悩む若いカップルが川の流に身を任せ、治癒されていく。元建築家の監督によるブルータルな建築物の切り取り方にも注目。同作は、アノーチャ・スウィチャーゴーンボンら5作家が参加したオムニバス映画『メコン2030』の一部としても上映された。

23分・2020年・ラオス、ベトナム



### 目を覚まし、備えろ (Hãy Tỉnh Thức Và Sẵn Sàng / Stay Awake, Be Ready)

監督：ファム・ティエン・アン

バイクが行き交うベトナムの夜を、なめらかに移動する13分ワンショットの長回しで撮影した作品。何の変哲もない街角で起こる「ありとあらゆる事」をじっと見つめるのは、透明人間か幽霊か、それとも——？映像に合わせて耳元で心地よく溶ける音響も要チェック。

14分・2019年・ベトナム



### ヨルーガ (Yoruga)

監督：フェデリコ・トラド・トボン

孤独な老人は一人、地球最後の亀・ヨルーガに会いに行く。しかし、面会時間はわずか1分。限られた時間の中で男が伝えたかった事とは？コロンビア人監督フェデリコ・トラド・トボンが、独特なブラックユーモアと共に、くすりと笑えるファンタジーの世界を描く。

6分・2021年・アメリカ、コロンビア

## ■参加アーティストプロフィール



### 空音央 (Neo Sora)

ニューヨークと東京を拠点に活動している映画監督、アーティスト。短編映画、ドキュメンタリー、PV、ファッションビデオ、コンサートフィルムなどを数多く監督、撮影。最新の短編映画『THE CHICKEN』(2020年)は、『ロカルノ国際映画祭』で世界初上映したのち『ニューヨーク映画祭』など、名だたる映画祭で上映され、フランスの映画批評誌『カイエ・デュ・シネマ』等にピックアップされた。アーティスト・フィルムメーカー集団「Zakkubalan」とクリエイティブ集団「Lunch Bee House」の2つのコレクティブに所属している。2022年には Sundance Screenwriter's Lab に参加した。



### 増淵 愛子 (Aiko Masubuchi)

ニューヨークと東京を拠点とする映画キュレーター、プロデューサー、翻訳家。2013年～2018年までNYのジャパン・ソサエティーで映画部を担当。独立後は、MoMA、Anthology Film Archive、Film Forumなどでゲスト・キュレーターをする傍ら、空音央の短編映画『The Chicken』(2020)をはじめ、短編・長編映画をプロデュースしている。翻訳家としては、岸本清子、細野晴臣、鈴木いづみなどの文章を英訳し、映画監督の濱口竜介、西川美和、俳優の樹木希林、詩人の吉増剛造などの通訳も担当。アーティスト・フィルムメーカー集団「Zakkubalan」の一員でもある。

## ■Sony Park Mini について

Sony Park Mini は、2024 年に完成を目指す新・Ginza Sony Park に向け、東京・銀座の数寄屋橋交差点のほぼ真下に位置する西銀座駐車場の地下1階に 2022 年 3 月 23 日にオープンした、10 坪の実験的 POP-UP スペースです。「アーティストの鼓動を感じるプログラムを起動し続ける」ことをコンセプトに、訪れるたびに新しいプログラムとの出会いがある場をつくります。音楽、映画、アート、食、ファッション、ショッピングなど幅広い分野をテーマに、個性溢れるクリエイターやアーティストと共に、年間を通じて 30 以上のバラエティに富んだ実験的かつ挑戦的なプログラムを実施。また Sony Park Mini 内にある「西銀座駐車場コーヒー」では、厳選されたコーヒー豆から抽出したアメリカノやカフェラテをはじめ、ミルクブリューやレモネードなどのドリンク、自然素材にこだわったヴィーガンドーナツやクッキーをテイクアウトにて販売しています。



施設名称： Sony Park Mini  
場所： 東京都中央区銀座5丁目3番1号地先 西銀座駐車場地下1階  
営業時間： プログラム 11:00~19:00 (GINZAZA 開催期間中は 8:30~19:00)  
西銀座駐車場コーヒー 8:00~18:00 (GINZAZA 開催期間中は 8:00~19:00)  
定休日： 不定休  
床面積： 約 30.0 m<sup>2</sup> (約 10 坪)

Sony Park Mini 公式 WEB ページ：<https://www.sonypark.com/mini>

Sony Park 公式 SNS アカウント

Instagram：<https://www.instagram.com/ginzasonypark/>

Twitter：<https://twitter.com/ginzasonypark/>

Facebook：<https://facebook.com/ginzasonypark/>

YouTube：<https://youtube.com/ginzasonypark/>

@ginzasonypark #ginzasonypark #sonyparkmini

西銀座駐車場コーヒーInstagram：[https://www.instagram.com/nishiginzaparking\\_coffee/](https://www.instagram.com/nishiginzaparking_coffee/)  
@nishiginzaparking\_coffee #西銀座駐車場コーヒー #nishiginzaparking\_coffee

■感染防止への取り組みとお客様へのお願い

お客様やスタッフの健康・安全を守るため Sony Park Mini では感染予防および拡散防止策を実施しております。お客様のご理解とご協力のほど、よろしくお願いいたします。

- ・入場時の体温測定にご協力ください。体温が37.5度以上の方はご入場をお断りする場合があります。
- ・場内ではマスクの着用をお願いします。
- ・入場時の手指消毒にご協力ください。
- ・お客様同士の間隔の確保にご協力ください。
- ・お客様の消毒用アルコールを設置します。
- ・場内で接触が多い箇所は消毒や換気を強化します。
- ・スタッフはマスク着用、出勤前検温、こまめなうがい・手洗い・手指の消毒を実施します。